

# 神戸大山岳部

## チベット未踏峰に挑む



神戸大山岳部とOBによる山岳会は来年秋、中国地質大学(武漢市)と合同で、中国・チベット自治区の未踏峰

「KG-17」(推定標高6536メートル)に挑む。両大学の合同登山隊は2009年にもチベット未踏峰登頂に成功しており、それに続く快挙を目指す。

登山隊の実行委員長を務める山形裕士・神戸大学院農学研究科教授は「未知への挑戦を続けてきた部にふさわしい遠征」と話している。

「KG-17」(推定標高6536メートル)に挑む。両大学の合同登山隊は2009年にもチベット未踏峰登頂に成功しており、それに続く快挙を目指す。

KG-17はチベット東南部のカンリガルポ山群に位置する。同山群には標高6千メートル以上の山が少なくとも47あるが、09年に合同隊が登頂した「ロプチン」(6805メートル)以外は全て未踏。KG-17はチベット最大の氷河・ラグ氷河を取り囲む山々の中で最も高いとされるものの、正確な標高すら不明という。

今回の挑戦は、同部が来年、

推定6536メートル「KG-17」来秋、中国隊と

創部100周年を迎えるのに合わせて企画。今年秋に偵察隊が現地へ赴き、詳細な登山ルートを検討する。「本番」は来年9月下旬から70日間の日程で、両大学から7人程度ずつ参加。地質学についての学術調査も予定する。



神戸大と中国地質大の合同登山隊が挑む「KG-17」(神戸大提供)